



第35回関東オープン(荻戸国際CC)

目次

私と白寿会..... 1	三嶋 榮	ルールQ & A..... 16	日本ゴルフ協会、規則委員会判例
'84関東オープンゴルフ選手権競技..... 2	関東オープン観戦記 杉山 通敬	'84夏季ジュニアゴルフ教室..... 20	理事会・委員会..... 22
'84関東倶楽部対抗選手権競技..... 8		コースレポート..... 24	
'84関東ジュニアゴルフ選手権競技..... 13		月例成績表(昭和59年度6月~8月)・お知らせ..... 25	

私と白寿会

川崎国際カントリー倶楽部
理事長 三嶋 榮



私が白寿会の事を書こうと云うのは些か気が引ける。と云うのはこの会の事は、かの元朝日の「天声人語」の荒垣秀雄氏が、「花鳥ゴルフ」と云う本の中でいろいろ面白く書いて居られ、又「天皇ヒロヒト」で知られる元毎日の高田市太郎氏もお書きになって居られるからである。しかし、それ等をお読みになって居られない向に一寸概略素描を書かせて頂く事とする。

白寿会とは関東一円のゴルフクラブの理事長仲間て70才以上のグランドシニアの有志で、99才迄もゴルフを楽しみ、且つ親睦を計り、月一回の会合をして情報・資料の交換、雑談などにより知識を広め合ってお互にクラブ運営の一助にもしたいという趣旨の会である。

私は平山、山根前理事長の後をうけて、そのお仲間入りをさせていただいたのが、昭和56年で71才、会では最年少?であった。

会長は東谷傳次郎氏(飯能ゴルフクラブ・59年現在90才)、年令順に挙げれば、天野健雄氏(嵐山・87才)、中川岩太郎氏(小金井・87才)、高田市太郎氏(相模原・86才)、友末洋治氏(大洗・84才)、山本久繁氏(青梅・83才)、高木進氏(湯河原・82才)、数納清氏(武蔵・81才)、荒垣秀雄氏(プリンスランド・81才)、三嶋榮(川崎国際・74才)であったが、それから3年経ち現在は中川、山本、高田の諸氏は顧問、新しく小山(青梅)、血脇(相模原)、浅井(小金井)の諸氏が入られた。

会長の東谷氏は本年90才を越えられたが、ゴルフもハーフは廻られ、その温容と共に会長としての御挨拶や采配ぶりも饗樂としてご立派であったが、今年の暑さで少しお具合が悪い様子で8月にはお見えにならず一寸淋しい感じてあった。

友末氏、中川氏は最初からの方々であるが、特に中川氏は初回(昭和45年)からの記録を大学ノートに克明につけて居られ、現在は145回目であるとのこと。毎回の各人のスコアは勿論、その日の天気、会合の様態など、こまごまと記して居られるのはさすが航

空工学の權威の片りんをうかがわせる貴重なノートである。その中川氏は酔えば「秋風五丈原」の長詩を全編暗唱で歌われる特技には驚く。天野氏は左腕、友末氏は片脚を失くされたので、共にゴルフは不可能だが、会食には元気なお顔をみせられ、天野氏はコースもついて廻られたりするのを楽しみにして居られる。

高田氏は私より一週り上の成年で86才と云われるが、身長155cm、体重40kg。私は165cm、76kg。体重は半分近いのに私よりずっと飛ばされるので恐れ入る。流石に「21世紀のゴルフ」の著者であり、エージシューターの貫録充分である。数納氏は会員中最もお元気で体格もよく、ゴルフ許りか酒量も素晴らしいが、ユネスコの会長で国際的にも仕事で忙しく、時々しかお見えにならないのが残念である。荒垣氏は知る人ぞ知る「天声人語」の著名作家、近來益々著作に随筆に自然保護に健筆を振って居られる。「白寿会では今迄自分は77才(56年当時)で末席だと云われて畏こまっていたが、三嶋さんが入って来たので年令のブービーと相なった」などと仰しやる。当意即妙の座談、あらゆる方面の博識、余技の落語など毎回一同を楽しませて頂いている。

湯河原の高木氏は山本氏と一高東大の野球部からの親友で、往年の名キャッチャー、名ショートであるが、山本氏は近來病気で見えられないのは惜しい。高木氏の声色もなかなかのものである。

東谷会長の夫人は一つ遠いて小学校の同級生であると云われるが、ご夫妻揃って90才迄睦まじくご健在なのは、それだけでも会長らしいご立派な事である。又、天野、友末両氏は夫人が常に一緒であるが、両氏が明るくゴルフの話などに興じて居られるのも、全くその夫人方の内助の賜である。この会は出来れば夫人同伴と云う事であるが、その事も有意義な気持ちの良い老後人生の模範である。又天野、高田両夫人は時々ゴルフもなさる良き老後万才である。

昭和59年度(第35回)関東オープンゴルフ選手権競技

●期日 8月30日(木)～9月2日(日) ●コース 茨城県国際カントリークラブ
●参加者 アマチュア 36名 プロ 102名 合計 138名



優勝トロフィーを手にしてニコソリ。

昭和59年度関東オープンゴルフ選手権大会は8月30日から9月2日までの4日間、茨城県の茨城県国際カントリークラブ(6,110メートル、パー71)で72ホールストロークプレーにより行われた。参加選手はプロ102名、アマチュア36名。中島常幸プロが8アンダーの276で初優勝し、阪田哲男選手が1オーバーの285で5度目のベストアマチュアを獲得した。

☆☆☆

大会の表彰式も終り、ハウス内で行われた打上げパーティーも終って、人影がなくなったころ、優勝者の中島常幸選手と開催コースのグリーンキーパー橋本良一さんが堅い握手を交わしていた。言葉にこそ出さなかったが、中島選手としてはコース整備に心をくれた橋本さんに感謝の気持ちと労をねぎらう気持ちを伝えたかったのだろう。橋本さんは「優勝おめでとう」という祝福の気持ちを握手にこめていた。なかなか、いい光景であった。晩夏のコースにはなお強く西陽が射し、夏草やつわものどもの夢のあと。ことさらにラフの陰影が濃く感じられた。

そのコースを眺めやりながら、橋本さんにメンテナンスについてのご苦労を聞いてみた。

中島常幸、ラフに勝つ

関東オープン観戦記

杉山 通敬

—ラフを伸ばし始めたのはいつごろからですか？
「7月に入ってから。なにしろお天道さまとの勝負ですから、胃が痛くなるほど神経を使いました。8月に入って、ぱったりと雨が降らなくなり、うちのコースだけ雨がよけてるのではないかとねたましく思ったくらいです。8月に降った雨はたったの7ミリ、そのうちの2ミリは大会初日の朝でした」
—フェアウェイの幅はどのくらい？

「ホールによって多少の差はありますが、18メートルから20メートル。ふだんは40メートル以上ありますから約半分の幅にしばらくたわけです。セミ・ラフの幅が片側で1.5メートルから2メートル。あとは伸し放題のラフにしたのですが、雨が降らなかったため、これでも思ったほど伸びてくれませんでした。ラフの長さは70ミリから130ミリ程度でした」

—グリーンへの花道はことさらに狭かったですね。
「ええ、花道は10メートルほどしかなかったです。それにグリーンもひと回り小さくしたわけです。平常は600㎡前後あるのですが、周囲にカラーをとったので500㎡ぐらいしかなかったと思います」

—グリーンのカットはどのくらいに刈りましたか。
「朝夕、ダブルカットしたんですが初日が3.5ミリ、最終日は3.3ミリ。なにしろ雨が降らなかったため、散水には苦労しました。日中に水をやると日照りが強いのでムレしてしまう。下手すると根くされる。仕方ないので日が沈んでから散水したんですが、夜11時までやってることもしばしばでした。水が切れると芝が赤くなりますし、刈り込むことも出来ませんから、もっとも気を使ったところで」

—ほとんどのホールが打下して、しかもドッグレッグしているために各選手とも狭いフェアウェイ、深いラフで、ティショットの狙いどころに苦心したようです。

「ショートホールを除いたら、ストレートなホールは15番だけ。あとは右か左か、どっちかにドッグレッグしてます。したがって、湾曲部が出るわけで、そこらへんのフェアウェイとラフのかね合い(刈り方)にも苦労しました。とにかく無事終ってひと安心です」

本当に、ひと安心という表情であった。春先の大雪、猛暑の夏、少ない降水量、芝にとっては三隣亡のような年だっただけにグリーンキーパーの、大会に備えての苦労は並大抵のものではなかったはず、中島選手ならずとも労をねぎらいたいところ。本当にご苦労さまでした。

☆☆☆

第3ラウンドを終って首位にたつたのは6アンダーの中島常幸だった。2位が4アンダーの湯原信光、3位は2アンダーの金井清一と川田時志春、5位は1アンダーのベテラン河野高明。決勝ラウンドに進出した66名のうち、アンダーパーをマークしたのはこの4人にすぎなかった。狭いフェアウェイ、深いラフ、小さなグリーン(パーオンがしにくい)に各選手が手を焼いた。

最終ラウンドを前にして、まず金井が言う。
「ボクにもチャンスがないわけじゃない」
湯原が言う。
「こういうコースではひとつひとつ積み重ねていくよりほかないです。ラウンドごとの目標は70においていたので、今日(第3ラウンド)までのところは順調にいきます。これ以上、いいスコアを出すひとがいたら、そのひとのほうが上手いので仕方ないです。明日はマイペースでいきます」

そして中島は言う。
「優勝スコアは恐らく7アンダーぐらいでしょう。あとひとつモグればいいわけ。公式戦ですからネ、やる気満々ですよ」

最終ラウンドは気温35.2度、湿度46パーセント、南西風3.8メートルという真夏日のもとで行われた。ギャラリー入場者は4,294名。十中八、九は中島の優勝が予想されたものの、湯原が早々にパーディをとればその行方はもつれるものと思われた。

「このフェアウェイの幅は道路より狭いじゃないか」「田圃のあぜ道ぐらいしかない」「まるでボーリングのレーンみたいだ」

ギャラリーが思い思いの感想をもらすなかで最終組の中島、湯原、金井がスタートしていった。中島が1打、2打とも右側のヘビーラフに打ち込み、アプローチもピンに約8メートル余りショートして、パーであがったのに対し、湯原はバンカーから、金井は左ラフから1メートル余りに3打をつけ、幸先のよいパーディを獲った。中島と湯原の差が1打になる。(1番は501メートル、パー5)

「面白くなるぞ」
誰かが言う。が、2番のショートホールで湯原はティショットを右のペントグリーンに打ち、バンカー越えのむずかしいアプローチを強いられる。その1打を見て、中島はこう思ったという。



中島にピッタリ付いて、気をはいた金井だったが、絶好調中島を抜く事は出来なかった。

「あのホールはスタンスがとりにくい。どうしても右のペントグリーンに向いてしまうわけ。湯原が、もしきっちり本グリーンへ乗せるようなら、手強い相手になると思ったけど、ペントに打ったので彼もまだ本調子じゃないと思った」

その湯原のアプローチはピンを6メートル余りオーバーし、2パットのボギー。せっかく1打差につめよったのに再びスタートの時点にもどる。3番、4番は三者ともにパーで通算スコアは中島6アンダー、湯原4、金井3。5番で湯原は1メートル余りを

外してボギー。中島との差が3つになり、金井にならばれる。6番、三者ともにパー。

そして、「本日のハイライト」7番ホールに来る。中島のティショットは右サイドのセミラフへ。湯原は「田圃のあぜ道」ほどしかないフェアウェイの中央に。金井は左のヘビースラフ。2打は金井が先に打つ。長いラフにヘッドスピードがくわれたのか、押し出し気味に右へ飛ぶ。バンカー手前のラフ。つぎに中島が打つ。10メートルもない花道からグリーンにころがり上り、ピン右横、約3.5メートルに止る。451メートルのロングホールを2オンだ。中島より飛ばした湯原が負けじとスプーンを振る。これもいい当たりだった。が方向が少しズレた。ペントとの間のヘビースラフで止る。中島ひとり2オンしたボールをマークし、金井と湯原のアプローチを「高見の見物」である。



4日間共、冴えるアイアンショット。

2人の寄せは長いラフの芝にインパクトを紙一重のところまで狂わせ、寄りきらない。

「なにかことがあっても、自分から動き出さないうもりだった。だけど、7番ではなにかが起りそうな気がした。自分から動くのはこのホールだ、と思った。(2オンした)パットのラインを読みながら、ひとつずつ差をひろげていくなら2パット狙い。いっ気にひろげるなら1パット狙いだと思った。ここでつき放そうと思ひ、1パットを狙った」

そのパットはカップの右上に向ってころがり出し、カップに近づくにしたがって左旋回する。最後はド真ん中から白球が沈んだ。ギャラリーが暑さも忘れて大歓声をあげる。パターを持った手を大きくあげて、中島がその歓声に応える。心なしか湯原と金井の肩が落ちる。イーグルの興奮がさめるのを待ってまず金井が、つぎに湯原からバーディ狙いのパットをする。ふたりとも外す。この時点で中島8アンダー、湯原と金井は3アンダー。中島の思惑どおり、ふたりはつき放された。

「勝負あった」

ギャラリーが囁き合っていた。

☆☆☆

最終ラウンドで中島がドライバーでティショットしたのは3つのロングホールと、3つのミドルホールだけだった。(実戸国際のホール構成はロング3、ミドル11、ショート4)残りの8つのミドルは2番アイアンかスプーンでティショットしたのだが、この点についてプレスインタビューでこう言っていた。「フェアウェイが狭いのでドライバーだとショットがいじけちゃう。いじけたティショットをしようと曲るわけ、それがいやだったのだけど、それより怖いのは「いじけ」がつぎのショットにも影響すること。悪いクセが体に残っちゃうわけ。それなら、たとえ結果的には曲ったとしても、いじけずに思い切り振れるクラブでティショットしたほうがいい。アメリカへ行って、いろんな選手の攻め方を見てきたので、ボクもプレーの幅が広がってきたんでしょね」

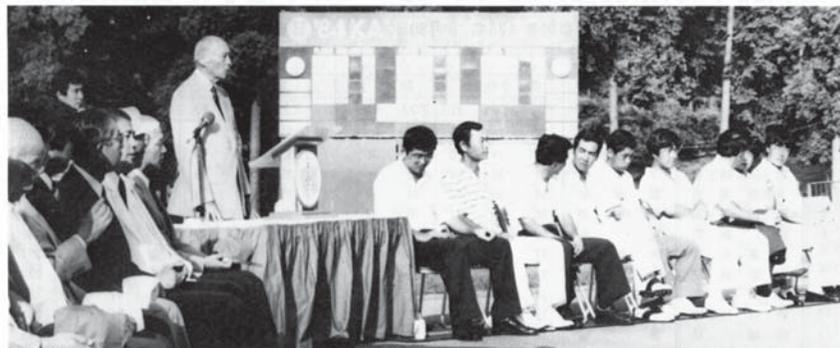
中島常幸の独壇場といってもいい今年の関東オープンだった。

☆☆☆

独壇場ついでに、プレスインタビューもすみ、親しいファンとテーブルを囲んで遅い昼食を取る中島に10分間インタビューを試してみた。昼食は生ビールと冷しラーメンだった。

——コースについてひと言。

「どんだん、こういうコースで試合をやってもいいね。ボクがこれまでに経験したコースのなかで、いちばんフェアウェイは狭かったけど、「仕事」のやり甲斐がありましたよ」



表彰式であいさつする細川連盟理事長。

——ラフの伸び方、グリーン回りのしぼり方、フェアウェイの起伏はとにかくとして、全体として全英オープンコースを小型にしたような感じはなかったか？

「コースそのものは、やっぱり違うと思いますよ。だけど、ラフの長いのは全英オープンや全米オープンで慣れている。その点、ボクには有利だったでしょうね」

——アプローチにしろ、セカンドショットにしろ、ラフのボールがどういう打ち方をしてくれるのか、と難問を問いかけてくるようなところがあったでしょう？

「ボール側から見れば、そういうことになります。このボールはどういうふうに打ってやれば喜ぶのかな、という感じ。ちょっとフェースを開き気味にしたほうがいいのか、かぶせ気味にしたほうがいいのか、ライによってセットの仕方がちがうわけです。ほかのひとと、そのくらいのことは知ってるし、やってみると思うけど、その判断ですよね。このボールはどう打ったらベターなのか、あるいはベストなのか。打ち方は知っても、判断がつかない場合があるわけ。試合で経験してないと、すぐには答えが出せないんですよ。ひらいて打つのと、かぶせて打つとじゃ、180度ちがうわけだから……」

——情況判断が正しくできるか、ということになるわけ？

「それがいちばんむずかしい。ラフのボールはフェースの入り方ひとつでガラッとかわっちゃいますからね。イギリスやアメリカで経験してきたので、いく

らかボクも身につけてきたということでしょう」

——きょうはティショットがフェアウェイをキープしたのはどのくらいの率だったか？

「えーと、アウトは2回、インは17番だけだったと思いますよ。ショットは悪くなかったのに」

——ショートホール以外はほとんど(15番以外は)ドッグレッグしてるんだけど、フェアウェイが狭いうえに、ドッグレッグしてるとティショットの狙いがつけにくい？

「ゴミばっかり捜していた。狙う方向を決めてから、そのライン上に目印になるゴミを捜して、それにスタンスを合わせるようにしたわけ。ボールの落ちるところ見たら、周りのラフばかり目に入るから、クラブ振れなくなっちゃう。だからスタンスが決まったら、ホールの絵を頭の中から消しちゃって、スタンスどおりに思い切り振ることだけを考えていた。それでもフェアウェイにいったのはたった3回だもんね。結局、ラフでも絶対にいっちゃいけないラフがあるわけです。右はいいけど、左はダメとか、左はいいけど右は絶対に避けるとか。ベストはなかなか選べないし、ひとつ間違えると危険なわけ。だから右と左、どっちがベターか、そういうつもりで狙いを決めていた」

——将功なり万骨枯る、ゴルフのトーナメントを見るたびにこの言葉を思いだすのだが、今年の関東オープンも勝者中島常幸の前に、万骨はラフのなかに屍を枯らされた風情であった。

昭和59年度(第35回) 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者 138名 8月30日(木)~9月2日(日) 於: 央戸国際カントリークラブ

順位	氏名	所属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計										
優勝	中島常幸	美津濃	38	35	73	36	33	69	33	32	65	34	35	69	276
2	金井清一	ダイワ精工	35	35	70	35	36	71	33	37	70	35	34	69	280
3	川田時志春	フリ	33	36	69	33	36	69	36	37	73	37	35	72	283
4	海老原清治	翠華樓	34	36	70	40	34	74	37	36	73	37	30	67	284
5	阪田哲男	袖ヶ浦	36	35	71	36	37	73	35	35	70	35	36	71	285
6	謝敏男	鳳凰	40	34	74	33	37	70	36	37	73	35	34	69	286
7	藤果南雄	鹿野山	37	35	72	38	36	74	36	35	71	33	37	70	287
7	河野高明	矢	37	35	72	35	31	66	37	37	74	35	40	75	287
7	湯原信光	S B 食品	34	35	69	36	34	70	37	33	70	37	41	78	287
10	新井規矩雄	アデランス	35	38	73	36	38	74	34	37	71	34	36	70	288
11	磯崎功都	船留	38	36	74	37	36	73	37	34	71	38	33	71	289
11	長谷川勝治	船	35	38	73	36	35	71	37	34	71	39	35	74	289
13	入野太	富士観光開発	38	36	74	37	36	73	37	36	73	32	38	70	290
13	岩下吉久	藤沢	37	36	73	38	36	74	33	37	70	33	40	73	290
15	堀内工	鷹之台	37	36	73	40	36	76	38	35	73	34	35	69	291
15	白浜郁雄	南箱根	37	36	73	38	35	73	34	38	72	37	36	73	291
15	中島秀徳	越	36	38	74	38	36	74	37	32	69	39	35	74	291
15	中島和也	矢板	36	35	71	37	35	72	37	36	73	37	38	75	291
19	中瀬芳治	大丸	32	39	71	36	38	74	37	40	77	37	33	70	292
19	菊地勝司	オン・グリーン	37	36	73	39	35	74	38	37	75	34	36	70	292
19	渡辺由巳	我孫子	36	38	74	37	37	74	35	38	73	38	33	71	292
19	草壁成治	紫	38	36	74	38	36	74	37	36	73	37	34	71	292
19	金海政雄	海栄海運	35	36	71	41	38	79	37	33	70	35	37	72	292
19	安山春雄	フリ	34	36	70	38	36	74	38	36	74	38	36	74	292
19	土山録志	八王子グリーン	37	38	75	36	37	73	36	34	70	34	40	74	292
26	日向清	いすゞ	34	39	73	36	35	71	36	40	76	35	38	73	293
26	藤岡達雄	沼津	36	36	72	36	34	70	38	36	74	39	38	77	293
28	大塚敏彦	日立高鈴	37	35	72	34	39	73	36	42	78	36	35	71	294
28	藤木三郎	フリ	38	36	74	35	38	73	38	37	75	35	37	72	294
28	加藤一彦	千葉	35	37	72	37	36	73	36	35	71	39	39	78	294
31	大野雅幸	銚子	39	36	75	39	35	74	38	39	77	35	34	69	295
31	大友富雄	塩原	36	38	74	34	38	72	37	38	75	38	36	74	295
31	船渡川青宏	南部富士	37	36	73	36	39	75	38	35	73	38	36	74	295
31	萩原安造	フリ	38	38	76	36	35	71	35	35	70	41	37	78	295
35	森憲二	川崎国際	37	38	75	37	36	73	37	37	74	35	39	74	296
35	横島由一	J U N	40	36	76	36	37	73	37	36	73	38	36	74	296
35	尾崎健夫	日東興業	39	37	76	37	37	74	31	37	68	38	40	78	296
38	鹿毛陸男	塩原	42	37	79	34	36	70	39	34	73	39	36	75	297
38	片山康	そごう百貨店	34	39	73	38	38	76	38	35	73	36	39	75	297
38	尾崎直道	日東興業	38	39	77	36	37	73	32	37	69	42	36	78	297
41	矢部昭	アリガゴルフ	36	36	72	41	37	78	38	40	78	33	37	70	298
41	内田久寿雄	フリ	41	38	79	44	37	81	37	38	75	36	37	73	298
41	村上隆	殖産住宅	36	39	75	38	36	74	38	36	74	40	35	75	298
44	栗原孝	武	37	35	72	37	40	77	37	40	77	37	36	73	299
44	牧野裕	メルボ紳士服	38	37	75	37	37	74	36	39	75	37	38	75	299
44	安達典夫	華嚴	38	36	74	38	38	76	38	35	73	38	38	76	299
47	田中泰二郎	野	36	40	76	36	37	73	38	40	78	37	36	73	300
47	堀口渡	埼玉国際	39	37	76	37	37	74	36	41	77	35	38	73	300
47	岩井陸	大熱海国際	37	38	75	36	35	71	39	40	79	37	38	75	300
47	船山孝一	日本G C	36	37	73	37	36	73	39	40	79	37	38	75	300
47	免知良一	三和建物	35	38	73	39	36	75	39	38	77	40	35	75	300
47	谷後則和	中台センター	38	37	75	37	38	75	38	37	75	37	38	75	300

順位	氏名	所属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計										
47	羽川豊	富士ゼロックス	37	36	73	39	35	74	39	38	77	36	40	76	300
47	高橋五月	橋本	37	37	74	35	36	71	38	41	79	40	36	76	300
47	中島弘二	泉月・玉造	37	38	75	37	37	74	38	35	73	40	38	78	300
47	青木基正	マルマン	37	37	74	35	38	73	36	36	72	38	43	81	300
57	吉武恵治	程ヶ谷	39	36	75	38	35	73	39	39	78	38	37	75	301
57	飯合肇	J 尾崎 E P	37	38	75	38	37	75	36	35	71	39	41	80	301
57	志村幹夫	大洗	34	36	70	38	41	79	36	35	71	41	40	81	301
57	中川泰一	三島Gコース	34	35	69	38	40	78	35	37	72	42	40	82	301
61	杉谷博美	富士クラブセル	37	37	74	36	37	73	38	38	76	40	40	80	303
61	野口茂	浜松豊岡国際	37	36	73	38	35	73	37	40	77	41	39	80	303
63	白石勝昭	袖ヶ浦	40	36	76	36	37	73	42	41	83	37	38	75	307
63	山口修一	大日ビル	39	41	80	35	35	70	40	42	82	35	40	75	307
63	川俣茂	日僕企画	35	39	74	38	37	75	40	38	78	38	42	80	307
66	内藤正幸	桜ヶ丘	36	37	73	40	33	73	42	42	84	44	39	83	313

氏名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
		アウト	イン	アウト	イン			
山下千里	チェックメイト	38	39	77	38	36	74	151
*青山裕之	日大	38	40	78	36	37	73	151
*高橋純一	ヨネックス	37	37	74	36	41	77	151
*堀越栄治郎	相模原	38	39	77	35	39	74	151
*岩瀬好和	千葉G C	37	40	77	37	37	74	151
*小出一允	姉ヶ崎	36	40	76	35	40	75	151
*貝畑洋	江戸崎	39	39	78	38	35	73	151
*岡庭正春	鎌ヶ谷	38	36	74	37	40	77	151
*小川透	岡部チサン	39	34	73	41	38	79	152
*関谷通人	央戸国際	38	35	73	39	40	79	152
*佐藤英之	東名	39	38	77	38	37	75	152
*南條勝美	利根新日本	40	40	80	34	38	72	152
*大谷朗	東千葉	39	38	77	34	41	75	152
*本宮P D	城北センター	37	38	75	38	39	77	152
*田引日出男	城北センター	36	40	76	39	37	76	152
*小暮卓	木更津	38	37	75	38	39	77	152
*須貝昇	嵐山	40	36	76	39	37	76	152
*岡田光正	嵐山	39	38	77	40	35	75	152
*尾崎将司	日東興業	36	41	77	37	38	75	152
*加藤雄二	日大	43	36	79	37	36	73	152
*竹安孝博	アタカ電気	37	37	74	38	40	78	152
*新聞善美	東北九正	39	40	79	39	35	74	153
*江本光	東我孫子	41	37	78	38	37	75	153
*窪田茂	丸新	39	39	78	33	42	75	153
*萩野博見	千葉廣済堂	36	42	78	38	37	75	153
*嶋田憲一	青梅	38	40	78	39	37	76	154
*山手ゴルフ	平松	40	37	77	35	42	77	154
*平林孝一	よみうりGC	38	40	78	37	39	76	154
*染谷英雄	岡部チサン	39	39	78	38	38	76	154
*高安信行	セントラル	42	37	79	37	38	75	154
*村田忠男	伊予保国際	39	35	74	40	40	80	154
*染谷勲	クリンエイト	40	39	79	37	38	75	154
*杉本英世	千成	38	39	77	36	41	77	154
*奥延通康	茨城	40	39	79	38	37	75	154
*中野弘治	茨城	39	37	76	38	40	78	154
*鈴木清	府中	37	39	76	39	40	79	155

氏名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
		アウト	イン	アウト	イン			
*上代修二	中山	39	39	78	41	36	77	155
橋本正巳	中津川	39	39	78	38	39	77	155
高橋純一	朝霞モダン	38	42	80	35	40	75	155
清田保	フリ	37	43	80	38	38	76	156
*田代昌義	新千葉	40	37	77	42	37	79	156
福沢孝秋	諏訪湖	40	39	79	37	40	77	156
天野勝	南秋田	41	38	79	38	39	77	156
*中村雅明	日大	41	41	82	36	38	74	156
*芹沢大介	日大	42	41	83	38	35	73	156
*宮代洋一	鎌倉	37	43	80	37	40	77	157
*森茂則	セントラル	41	38	79	39	39	78	157
石川勝治	天城にっかつ	38	41	79	41	37	78	157
*加藤家光	甘楽	41	41	82	37	39	76	15

昭和59年度(第31回)関東倶楽部対抗選手権競技

●期日 7月2日(月) ●コース 習志野カントリークラブ ●参加者 38チーム、304名

ことしの関東倶楽部対抗競技はとうとう参加チーム数が200チームの大台を越した。予選参加チームだけでちょうど200チーム。決勝競技開催でシード権のある習志野チームを入れて201チームに達した。もちろんこれは倶楽部対抗史上初の最多エントリー数であり、参加選手は1チーム8人として総数1,608人という大トーナメントである。それもレギュラーが8人だが、それ以外に各チーム登録選手として大量の予備軍をひかえさせており、これらを含めるとこの倶楽部対抗に関連した選手総数は数千人にも達する。これらの人々が技を磨いてせり合う倶楽部対抗は、見方によってはゴルフ界の春の一大イベントといっても過言ではないのではなかろうか。

予選は各県単位に11ブロックに分けて開催されたが、どこも参加チームが増加しただけ予選通過を目指してのせり合いは激烈だった。



選手、スタート前の入念なバッチングの練習

中でも予選では最多の30チームが参加している千葉県は毎年の事ながら最高の激戦を展開した。会場は新千葉カントリークラブの36ホールを使用した。前年度優勝の袖ヶ浦が456ストロークでトップを占めたのは順当だったものの、2位から以下5位までの予選通過の顔ぶれはガラリと一変した。前年度は2位で決勝に進出した我孫子が姉ヶ崎に1ストローク差で次点の6位に転落、同じく3位だった中山が

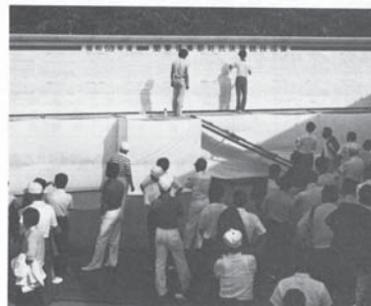


クラブ対抗決勝出場の各クラブ旗、大会の雰囲気盛り上がる。

8位とともに予選落ち、代って決勝の常連だった千葉が5ストローク差の2位にカム・バック、3位には新鋭の宮が入るなど、波乱に満ちた展開を見せた。

その他では上位が比較的安定している東京、埼玉、神奈川、茨城、静岡等はそれぞれ強豪チームが順当に決勝進出を果たしたが、前年度の決勝進出チームが1チームも残らず、まるで新顔ばかりが予選を勝残ったブロックも多かった。まず群馬では前年度の美野原、草津の2チームが落選、伊香保、太田双葉、甘楽の3チームが決勝進出、長野も前年度の望月と穂高が落ちて長野、信州丸子の2チームに変わり、新潟も大新潟、長岡、新津の顔ぶれから、今年は日本海、紫雲、湯田上の顔ぶれに変わった。栃木は参加チーム数の増大で本年度から2ブロックに分けて郡須チサン、関東国際の2会場です選を行ったが、それぞれ3チームずつの決勝進出のワクに対し、前年度の決勝進出5チームの中から決勝に残ったのは宇都宮の1チームだけ、あとの5チームはいずれも前年度予選落ちの憂き目を見たチームばかりだった。

これこそチーム全員の足並みが揃うか揃わないかによってガラリと様相が変わってくる団体戦の面白さでもあり、かつ、また難かしさでもあるといえるのだろう。



競技成績集計風景

倶楽部対抗の決勝は予選を通過した38チームが参加して7月2日(月)千葉県習志野カントリークラブで開催された。50才以上のAクラスがクイーン・コース、年齢制限なしのBクラスがキング・コースと36ホールのコースをフルに使って争われたが、絶好のコンディションに恵まれて競技はスタートから白熱した。

毎度のことながら倶楽部対抗は各クラブともに応援団を動員し、それぞれが途中の情報集めに忙がしい。これらの情報をかき集めたところでは、午前ハーフ・ラウンドを終って優勝の有力候補に上って来たのは千葉カントリークラブである。50才以上の4人がいずれも30台のスコアにまとめる健闘振りを見せれば、Bクラスの若手も3人が30台、最悪だった者でも40にまとめ、チーム全員が揃って快調な出足を見せていた。もともと倶楽部対抗では決勝の上位で暴れていたチームだが、昨年の倶楽部対抗では



パーティー会場

予選落ちの屈辱を味あわされたのだから、その雪辱の意気込みは凄かったようだ。

前年度のチャンピオン・チームの袖ヶ浦カントリークラブも優勝候補の筆頭らしくAクラスの4人が快調な出足を見せたが、Bクラスでは期待の切札と見られていた阪田哲男がアウトを3オーバー・パーの39と出足が悪かったのが目についたものの、これも優勝の射程圏内、この他では優勝争いの常連となっている大利根をはじめ、水戸、東名富士が上位に顔を出して来た。

後半のハーフも千葉カントリークラブは全員が足並みを揃えて着実にスコアをまとめた。

Aクラスは橋上靖一と清水雄次がともに3オーバーの75、今井健と大曾根謙次がともに77、一方のBクラスも新村ヨシオがアウト35の好スコアで追い上げて1オーバーの73、加藤一彦が74、傍島輝雄が77



優勝した、喜びの千葉チーム一同

と着実にまとめ、チームのトータル・スコアは451ストローク。

一方の袖ヶ浦はAクラスが森泉の73を筆頭に野本俊夫、渡辺尚の2人が75と健闘したものの、Bクラスが予想外に伸びず、阪田が75と不発、水沢純一が77、佐久間徹二、鈴木軍治の2人が78でチームのトータル・スコアは453ストローク、僅かに千葉に2ストローク及ばずに2位。

3位には水戸と東名富士が455ストロークのタイ・スコアで並ぶきわどいせり合いとなり、結局Bクラスの4人目のスコアに勝った水戸が3位、東名富士が4位、大利根が458ストロークで5位に入った。

昭和59年度(第31回)関東倶楽部対抗決勝競技成績表

(昭和59年7月2日(月)習志野カントリークラブ)

優勝 千葉カントリークラブ 得点451

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
今井 健	37	40	77									
大曾 謙次	38	39	77									
橋上 靖一	38	37	75									ベスト6
清水 雄次	38	37	75									
加藤 一彦	37	37	74									451
長谷川 一弘	38	40	78									1位
新井 昌彦	35	38	73									
伊藤 輝雄	37	40	77									

2位 袖ヶ浦カントリークラブ 得点453

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
野本 俊夫	40	38	78									
保田 宏	37	41	78									
森 泉	36	37	73									ベスト6
渡辺 尚	41	34	75									
阪田 前男	39	36	75									453
佐久間 徹二	39	39	78									2位
水久 純一	37	40	77									
鈴木 軍治	36	42	78									

3位 水戸ゴルフクラブ 得点455

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
酒井 儀	42	38	80									
荻津 邦	41	36	77									ベスト6
月村 隆行	48	37	85									
根本 敦	37	43	80									455
根本 太	35	37	72									
中村 清	39	36	75									3位
打越 守	39	38	77									
平沢 貞雄	38	41	79									

4位 東名富士カントリークラブ 得点455

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
大石 昇	40	35	75									
神山 弘	40	36	76									ベスト6
後藤 幸一	39	38	77									
実川 保之	39	37	76									455
市川 隆	39	39	78									
福田 光男	42	43	85									4位
勝保 貞	41	35	76									
中島 広行	39	35	74									

5位 大根橋カントリークラブ 得点458

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
初見 為治	36	36	72									
高木 信男	39	36	75									ベスト6
竹内 勉	42	38	80									
鈴木 昭満	42	40	82									458
西山 文敏	38	38	76									
高野 善次郎	39	36	75									5位
生田 重一	39	41	80									
小原 秀治	40	40	80									

6位 武蔵カントリークラブ 得点461

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
新井 安寿	38	39	77									
尾関 秀	39	38	77									ベスト6
島本 龍一	40	42	82									
宮本 志忠	41	40	81									461
浅川 辰彦	39	37	76									
森永 正隆	38	41	79									6位
水田 眞一	36	37	73									
山口 規朗	39	38	77									

7位 セントラルゴルフクラブ 得点463

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
山本 泰朗	38	40	78									
吉村 金男	37	40	77									ベスト6
井原 茂	38	39	77									
小沢 清水	36	40	76									463
鹿窪 一郎	42	39	81									
高安 信行	36	38	74									7位
森 茂則	42	40	82									
岸 本	40	38	78									

8位 大相模カントリークラブ 得点463

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
中村 実	42	39	81									
溝口 空彦	40	36	76									ベスト6
大野 光雄	41	42	83									
木村 俊夫	39	39	78									463
横山 日出男	37	33	70									
小森 再男	41	41	82									8位
高木 敏雄	41	37	78									
鈴木 勝水	40	40	80									

9位 沼津ゴルフクラブ 得点466

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
渡辺 悦志	42	38	80									
渡辺 源次	42	36	78									ベスト6
榎松 和一	41	40	81									
中村 中雄	40	39	79									466
長友 洋一	43	40	83									
岩崎 高雄	35	37	72									9位
高野 勝俊	36	41	77									
萩原 民郎	42	38	80									

10位 鬼怒川カントリークラブ 得点469

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
藤井 慎一	37	39	76									
谷内 定次	35	39	74									ベスト6
茂木 国雄	44	39	83									
丹治 一	39	40	79									469
杉山 利行	40	40	80									
市村 義雄	40	40	80									10位
斉藤 重光	42	40	82									
原 庄三	41	39	80									

11位 岡部チサンカントリークラブ 得点469

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
大島 義治	43	41	84									
冬木 武男	42	40	82									ベスト6
野山 輝治	45	37	82									
高橋 康二	39	35	74									469
小川 文彦	35	37	72									
大久保 常彦	40	46	86									11位
鈴木 一光	37	42	79									
松本 克昌	40	40	80									

12位 伊香保カントリークラブ 得点470

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
高橋 太郎	39	39	78									
市川 一夫	39	38	77									ベスト6
打越 隆夫	41	45	86									
小島 隆夫	39	36	75									470
菊池 市雄	42	42	84									
伊藤 信治	34	41	75									12位
市川 隆夫	44	41	85									
吉田 英司	40	41	81									

13位 鶴舞カントリー倶楽部 得点471

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
島田 省司	37	37	74									
宮坂 昭治	43	38	81									ベスト6
西脇 一三	39	36	75									
田中 作部	39	40	79									471
鹿窪 一郎	41	38	79									
高安 信行	37	41	78									13位
森 茂則	47	43	90									
志野 好男	44	42	86									

14位 宇都宮カントリークラブ 得点472

氏名	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	ア	フ	合計	順位
飯沼 一	38	38	76									
小林 忠一	40	36	76									ベスト6
小山田 拓夫	44	40										

昭和59年度(第31回)関東倶楽部対抗予選競技成績表

地区別 順位	東 京 (府 中)	埼 玉 (入 間)	千 葉 (新 千 葉)	群 馬 (太 田 双 葉)	長 野 (三 井 の 森 野 科)
1	府 中 464	岡 部 子 450	袖 ヶ 浦 456	伊 香 保 470	長 野 野 473
2	東 京 国 際 478	武 蔵 野 454	千 葉 業 461	太 田 双 葉 472	信 州 丸 子 483
3	青 梅 481	日 高 467	一 の 宮 470	甘 栗 482	穂 高 485
4	桜 ヶ 丘 491	高 根 469	鶴 ヶ 崎 473	桐 生 486	松 本 490
5	武 蔵 野 491	東 京 京 472	姉 ヶ 崎 474	上 毛 高 原 489	諏 訪 湖 490
6	東 京 五 日 市 492	東 松 山 473	我 孫 子 474	草 津 489	千 曲 高 原 490
7	立 川 国 際 492	川 越 473	船 橋 477	赤 城 国 際 489	三 井 の 森 野 科 492
8	小 金 井 494	越 生 473	中 山 477	嵐 山 497	信 州 塩 嶺 504
9	相 武 497	霞 ヶ 間 475	藤 ヶ 谷 478	伊 香 保 国 際 497	望 月 505
10	東 京 よ み り 499	嵐 山 475	長 太 郎 480	間 越 ハ イ ラ ン ド 500	佐 久 平 506
11	八 王 子 500	狭 山 山 476	総 武 480	美 野 原 503	サ ニ ー 528
12	多 摩 506	高 坂 477	新 千 葉 484	上 毛 森 林 507	
13		飯 能 480	鎌 ヶ 谷 486	サ ン コ ー 512	
14		入 間 480	八 幡 487	高 崎 K G 514	
15		熊 谷 492	本 千 葉 489	群 馬 514	
16		ノ ー ザ ン 錦 ヶ 原 493	柏 489		
17		廣 済 堂 埴 玉 494	南 総 492		
18		鴻 巣 497	千 葉 国 際 492		
19		秩 父 国 際 533	千 葉 新 日 本 494		
20			東 京 清 494		
21			茨 城 495		
22			銚 子 496		
23			真 名 497		
24			東 千 葉 500		
25			鹿 野 山 500		
26			鹿 野 山 503		
27			房 総 503		
28			上 総 富 士 505		
29			京 葉 国 際 508		
30			房 州 508		

地区別 順位	静 岡 (富 士 宮)	神 奈 川 (川 崎 国 際)	茨 城 (富 士 ・ 笠 間)	橋 本 第 1 (那 須 子 桑)	橋 本 第 2 (関 東 国 際)	新 潟 (日 本 海)
1	東 名 富 士 462	横 濱 473	セ ン ト ラ ル 474	鳥 山 城 476	広 陵 469	日 本 海 561
2	東 名 富 士 462	大 相 模 476	江 戸 崎 487	宇 都 宮 477	関 東 国 際 471	葉 雲 567
3	浜 松 シー サ イ ド 469	相 模 原 478	大 利 根 487	芳 賀 482	鬼 怒 川 473	湯 田 上 573
4	富 士 宮 470	妻 野 482	水 戸 490	矢 板 488	足 利 475	松 ヶ 峯 574
5	沼 津 472	津 久 井 湖 484	日 立 495	那 須 子 桑 490	鹿 沼 72	新 津 574
6	富 士 子 桑 476	葉 山 国 際 485	龍 ヶ 崎 495	鹿 沼 495	千 成 475	新 潟 574
7	浜 南 479	相 模 原 487	土 浦 496	橋 本 498	那 須 小 川 476	フォレスト 576
8	浜 松 豊 岡 国 際 483	川 崎 国 際 488	ア ジ ア 下 関 497	都 賀 500	日 光 477	長 岡 581
9	朝 霧 ジェ ヌ ー ン 485	平 塚 富 士 見 488	取 手 新 日 本 500	宇 都 宮 国 際 506	唐 沢 480	五 箇 国 際 584
10	大 熱 海 国 際 485	東 名 厚 木 492	水 戸 グ リ ー ン 504	あ さ ひ ッ 丘 506	杉 ノ 郷 482	大 新 潟 585
11	富 士 485	伊 勢 原 492	浅 見 504	鹿 沼 国 際 508	東 宇 都 宮 487	石 打 後 楽 園 588
12	富 箱 根 485	中 津 川 493	霞 台 505	紫 塚 517	塩 原 487	上 越 国 際 (十 印 町) 590
13	藤 枝 486	小 田 原 湯 本 494	板 橋 506	藤 原 525	皆 川 城 487	妙 高 594
14	富 士 平 原 490	磯 子 494	大 洗 511	ジュンクラシック 511	豊 月 ・ 佐 野 490	上 越 国 際 (米 山) 603
15	静 岡 ・ 浜 岡 494	大 磯 野 498	白 帆 512	藤 和 那 須 541	鹿 沼 504	津 655
16	天 城 に っ か つ 494	戸 塚 499	茨 城 パ シ フ ィ ッ ク 513			
17	伊 東 494	湯 河 原 500	扶 桑 514			
18	愛 蔵 495	箱 根 503	珠 波 514			
19	太 陽 500	レ イ ン ボ ー 507	常 陸 517			
20	静 岡 ・ 島 田 502	程 ヶ 谷 529	ダイヤグリーン 519			
21	伊 豆 に ら や ま 503		富 士 ・ 笠 間 520			
22	静 岡 ・ 袋 井 508		茨 城 523			
23	富 士 小 山 509		茨 戸 国 際 527			
24	森 町 513					
25	御 殿 場 529					

昭和59年度(第5回)関東ジュニアゴルフ選手権競技

予 選

●期日 7月24日(火)～26日(木) ●コース ノーザン
カントリークラブ錦ヶ原 ●参加者 男子の部887名、
中学男子の部138名、女子の部101名、合計1,126名。

決 勝

●期日 8月1日(水)・2日(木) ●コース 武蔵カ
ントリークラブ笹井コース ●参加者 男子の部176名、
中学男子の部24名、女子の部13名、合計213名

トップはさくら草コースを3アンダーの69を出した丸山茂樹(下貝塚中3年)で、以下79ストロークまでの24名が予選を通過したが、中学生でも70台のスコアでなければ予選を通過できないほど、ジュニアの実力も上昇して来ていることを示している。女子にも同じことが言えた。1位になったのがなの花コースを3アンダー69にまとめた久松由里子(埼玉栄高1年)以下80ストロークまでの13名が予選を通過したが、これも例年よりはるかな好スコアである。

フルバックからプレーした高校の部でもBブロックで神田賢志(越生高2年)がなの花で1アンダー70、Dブロックでは西川哲(日体荏原高1年)が同じくなの花を2アンダー69、Eブロックの中林淳一(埼玉栄高3年)はさくら草コースを1アンダー71、Fブロックでも宮崎常樹(水城高3年)がなの花を1アンダー70、Hブロックの森川賢一(京北高3年)が同じくなの花で70を出すなど、予選から好スコアが続出した。



練習場風景



スコア確認を毎ホールアウト後している。

予選の参加者総数が1,126名、年々増大する参加者数からジュニアの間にゴルフ熱が一層高まっていることがうかがえるが、それと同時にこれがジュニアかたびっくりするほどのすばらしいスコアを出すものも現われ、技術的にも大幅な進歩の跡が見られたのは、この大会の大きな収穫だった。

予選は錦ヶ原のさくら草となの花の両コースを使い、18ホール・ストローク・プレーで争われたが、参加者が多いために連日両コースとも午前7時半からスタートして午前中に1ラウンドの予選を終了する。続いて午前11時半からは午後の組の予選をスタートさせるという強行スケジュール、高校男子の部は2日間で8ブロックの予選を消化したが、炎天下に競技運営に狩り出された競技委員をはじめ、共催のスポニチ事業部員、応援をお願いした関東高等学校ゴルフ連盟の先生方まで、連絡用の無線機を片手に汗みどろの活躍は見るからに大変な仕事だった。

予選から好スコアが続出した。中学男子の部のト

決勝は高校男子が8月1日、2日の両日、54ホール・ストローク・プレー、中学と女子は2日に18ホールだけで優勝が争われたが、武蔵カントリークラブ笹井コースのフルバックからのプレーは、予選で好スコアを出した高校男子にとっても相当な手応えがあったようだ。1日目のトップは14番のロング・ホールでイーグルをものにして2オーバー・パー74にまとめた野上浩一(埼玉栄高2年)、2位は14番でショットを曲げてトリプル・ボギーをたたきなど、やや荒れ気味だった小達敏昭(関東学院高2年)が最後の7、8、

競技

昭和59年度(第5回)関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

9番で3連続バーディーを出して追いついて75で入り、3位には西川哲(日体荏原高1年)が76で喰い下った。

最終日はこの3人に77で4位だった江連忠(日大桜丘高1年)を加えたトップ・グループが最終組でスタート、激しい優勝争いを演じた。第2ラウンドは野上、小達ともに3オーバーの75にまとめてその差は相変わらず1ストローク差、ただ西川と江連はともに6オーバーの78でやや後退した。最後の第3ラウンドに入るとトップの野上はアウトをきれいにパー・プレーしたが、小達は1バーディー2ボギーの37、その差は2ストロークと開き、最後のハーフを残して野上が断然有利と見られたが、優勝を目前にして突如として野上が調子を乱した。ショットが決まらなくなって5ボギーを連発、41とくずれたのに対し、小達は10番でボギーをたたいたものの、14番のロング・ホールでは第2打を2番アイアンでグリーン・エッジまで飛ばしてバーディーを奪い、インはパーの36、見事に2ストローク差をひっくり返して通算223ストローク、2位の野上と最終ラウンドをイーブン・パー72で追いついて来た西川の2人に3ストロークの差をつけて初優勝をものにした。

中学の部ではさすがに笹井のバック・ティーの手応えが大きかったのか、全般的にスコアは振わず、



ジュニアに対して、理事長挨拶

前年度2位だった丸山茂樹(下貝塚中3年)が6オーバー・パー78で初優勝、1ストローク差の2位には日野琢磨(日大中3年)、塚田好宣(鎌ヶ谷第2中3年)の2人が入った。

女子は予選でトップだった久松由里子と武田久子(日体桜華高3年)の2人が5オーバー・パー79ストロークのタイ・スコアでトップに並び、1番からのサドン・デスのプレー・オフに持ち込まれたが、久松がこの1番で第3打をOBしてしまい、武田が初優勝を手中にした。



各部門優勝者

(高校男子の部)

順位	氏名	学校名/学年	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		合計				
			O	I	O	I	O	I					
1	小達敏昭	関東学院	(2)	36	39	75	35	40	75	37	36	73	223
2	野上浩一	埼玉栄	(2)	37	37	74	38	37	75	36	41	77	226
3	西川哲	日体荏原	(1)	36	40	76	38	40	78	36	36	72	226
4	杉山直也	成蹊	(2)	36	42	78	39	40	79	36	40	76	233
5	伊沢利光	日体荏原	(2)	42	40	82	37	38	75	40	38	78	235
6	藤田賢也	日大鶴ヶ丘	(3)	38	42	80	41	37	78	36	42	78	236
7	江連忠	日大桜丘	(1)	39	38	77	39	39	78	40	42	82	237
8	深堀圭一郎	明大の中野	(1)	36	43	79	40	41	81	38	42	80	240
9	広橋公士	日大	(2)	36	42	78	38	42	80	40	40	82	240
10	坂野耕一	成 立	(3)	43	39	82	38	44	82	35	41	76	240
11	岡田光史	立 教	(2)	40	40	80	38	42	80	40	41	81	241
12	安田浩二	成城学園	(3)	43	39	82	43	38	81	38	41	79	242
13	佐久間健一	松戸秋山	(1)	40	41	81	41	42	83	38	40	78	242
14	伴 樹一	明星学園	(3)	40	44	84	39	38	77	42	39	81	242
15	森川賢一	京 北	(3)	38	43	81	40	42	82	38	42	80	243
16	榎本勝明	埼玉栄	(3)	42	45	87	42	39	81	37	39	76	244
17	益木一彦	聖 光	(2)	40	45	85	44	40	84	37	39	76	245
18	長田高昭	日大三島	(3)	39	43	82	39	43	82	40	41	81	245
19	高階崇尚	成城学園	(3)	43	40	83	41	41	82	41	39	80	245
20	藤 智彦	明大の中野	(3)	41	44	85	40	41	81	39	42	81	247
21	長谷川太郎	浦和学院	(3)	41	45	86	39	41	80	41	40	81	247
22	崎崎常樹	水 城	(3)	42	44	86	40	80	39	42	81	247	
23	五代健次	日体荏原	(1)	41	43	84	41	43	84	38	41	79	247
24	芦田 歩	日体荏原	(1)	41	41	82	38	41	79	42	45	83	248
25	森原善雄	日大第二	(2)	42	40	82	44	44	88	41	37	78	248
26	藤田達也	位成学園	(3)	42	45	89	37	41	78	42	44	86	249
27	関分孝幸	聖 光	(2)	42	40	82	42	41	83	46	38	84	249
28	金子隆一	川口北	(3)	45	40	85	43	38	81	41	42	83	249
29	中山志志	横 浜	(1)	42	43	85	43	86	37	41	78	249	
30	金子光規	日 大	(1)	39	42	81	42	41	83	41	44	85	249
31	立山光広	日体荏原	(1)	42	41	83	40	41	81	41	45	86	250
32	杉山和久	島田高	(2)	42	42	84	40	44	84	39	44	83	251
33	大塚雅之	堀 越	(3)	40	44	84	42	43	85	40	42	82	251
34	市川裕之	日大第一	(3)	45	38	83	39	45	84	43	42	85	252
35	青木宏之	明大の中野	(3)	40	41	81	45	40	85	44	42	86	252
36	寺門弘記	水 城	(3)	39	42	81	41	42	83	41	47	88	252
37	山内健司	早稲田高	(3)	40	45	85	41	41	82	43	42	85	252
38	中林淳一	埼玉栄	(3)	45	41	86	41	43	84	43	39	82	252
39	遠藤 修	堀 越	(1)	41	38	79	41	44	85	44	44	88	252
40	相次達也	埼玉栄	(2)	43	40	83	41	41	82	42	45	87	252
41	菅吉 明	明大の中野	(2)	42	42	84	45	41	86	41	41	82	252
42	森田圭一郎	日体荏原	(1)	39	45	84	40	44	84	45	40	85	253
43	斎藤信明	聖 光	(2)	43	44	87	41	44	85	37	44	81	253
44	加茂孝則	日大第一	(2)	44	41	85	41	44	85	42	41	83	253
45	荻野和博	土浦日大	(3)	40	44	84	43	44	87	44	39	83	254

順位	氏名	学校名/学年	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		合計					
			O	I	O	I	O	I						
45	大谷正城	日 大	(3)	41	43	84	39	46	85	46	39	85	254	
46	栗井大介	日大桜丘	(3)	43	44	87	40	40	80	40	47	87	254	
47	大田賢一	千葉日大一	(3)	43	38	81	40	43	83	44	47	91	255	
48	渡嶋イサク	日大桜丘	(3)	40	38	78	42	45	87	42	48	90	255	
49	石井伸彦	堀 越	(2)	44	43	87	40	43	83	40	45	85	255	
50	杉山俊久	伊 勢	(3)	39	43	82	43	45	88	43	42	85	255	
51	河下朝吉	百 合	(3)	43	43	86	40	46	86	41	42	83	255	
52	森野直生	鳩 山	(2)	44	43	87	43	44	87	41	41	82	256	
53	小林道生	青 島	(3)	43	43	86	42	41	84	43	43	86	256	
54	大塚健太郎	土浦日大	(2)	42	44	86	40	48	88	42	40	82	256	
55	前田裕司	明大の中野	(3)	43	43	86	42	41	83	44	43	87	256	
56	加藤広俊	藤枝明誠	(2)	45	42	87	43	41	84	43	42	85	256	
57	毛塚佳秀	明大の中野	(2)	44	43	87	45	40	90	40	40	80	257	
58	武井 淳	慶 応	(3)	42	44	86	42	44	86	42	43	85	257	
59	渡辺 豆	多 賀	(2)	43	43	86	45	39	84	44	43	87	257	
60	石川 尚	埼玉栄	(2)	42	44	86	42	41	81	43	47	90	257	
61	福 智一	立 正	(1)	45	41	86	42	43	85	44	42	86	257	
62	下向英一	横 浜	(1)	42	40	82	40	40	85	42	50	92	259	
63	上 島 哲	日大第三	(1)	45	42	87	42	46	88	43	44	83	260	
64	野内尚幸	埼玉栄	(1)	39	47	86	38	45	83	44	47	91	260	
65	行徳健洋	成 蹊	(3)	43	44	87	41	46	87	44	42	86	260	
66	山崎宏通	青大付属	(2)	44	42	86	45	43	88	43	43	86	260	
67	野部智之	豊 田	(2)	40	46	86	44	41	85	43	46	89	260	
68	藤本一博	明大の中野	(2)	43	44	87	45	45	90	45	39	84	261	
69	池田土文	法政大第二	(1)	40	44	84	41	43	84	47	46	83	261	
70	木村龍二	日 大	(2)	43	43	86	46	44	90	41	44	85	261	
71	松島謙輔	千原日大一	(3)	43	44	87	45	49	94	39	43	82	263	
72	松本俊一	千原日大一	(3)	45	42	87	43	42	85	44	41	81	263	
73	有江一善	埼玉栄	(3)	43	44	87	43	44	87	43	46	89	263	
74	中村浩彦	慶 応	(3)	43	38	81	46	41	87	47	49	97	264	
75	山田雄二	明大の中野	(2)	41	45	86	43	47	90	43	45	88	264	
76	飯野高剛	水 城	(3)	43	44	87	39	46	85	47	46	93	265	
77	井上星一	玉川学園	(2)	43	43	86	46	42	92	45	47	92	265	
78	斎川嘉則	浦和学院	(3)	43	44	87	45	44	89	42	47	89	265	
79	中村元昭	筑波大駒場	(3)	45	41	86	42	47	89	44	46	90	265	
80	洲上博俊	二 宮	(2)	45	42	87	42	47	89	45	44	89	265	
81	大野 康	埼玉栄	(2)	45	41	86	45	44	89	43	48	91	266	
82	尾崎敬大	向 上	(2)	44	43	87	45	40	90	44	46	90	267	
83	加月弘貴	日大桜丘	(3)	43	43	86	45	46	91	48	44	92	269	
84	松本大輔	日大第三	(1)	41	46	87	47	44	91	44	47	91	269	
85	栗木俊雄	堀 越	(3)	40	45	85	44	40	94	47	44	91	270	
86	野田公仁	小石川	(2)	43	44	87	43	48	91	47	47	94	272	
87	鎌倉直人	慶 応	(2)	44	43	87	48	45	93	47	45	92	272	
88	大橋 誠	立 教	(3)	44	40	84	46	42	88	48	56	104	276	
89	高橋史幸	立 教	(1)											

(O:アウト I:イン)

(中学男子の部)

順位	氏名	学校名/学年	アウト	イン	合計	
1	丸山茂樹	下 貝 塚	(3)	39	39	78
2	日野 琢磨	日 大	(3)	40	39	79
3	塚田好宣	鎌ヶ谷第二	(3)	39	40	79
4	染谷 修平	日 大	(3)	41	40	81
4	阿久津 英司	末 吉	(3)	41	40	81
4	橋田 正太郎	船 橋	(3)	39	42	81
7	高田 光孝	原ノ原	(2)	42	41	83
8	小 西 仁	市 二	(2)	41	43	84
8	白石 昌巳	鎌ヶ谷第二	(3)	44	40	84
10	井口 謙昌	赤塚第一	(2)	42	43	85
10	石川 淳一	末 吉	(3)	39	46	85
12	豊 天 裕 幸	調布第五	(3)	46	40	86

順位	氏名	学校名/学年	アウト	イン	合計	
12	加藤 雅成	新 我	(2)	45	41	86
14	白石 誠司	日 大	(3)	46	41	87
15	浦野 竜治	府中第九	(3)	44	44	88
15	中川 利一	明大の中野	(3)	47	41	88
17	斉藤 健一	藤 津	(2)	44	46	90
17	桑原 達彦	みつわ台	(2)	43	47	90
17	武田 信之	明大の中野	(3)	44	46	90
20	伊藤 敬二	入 谷	(3)	45	46	91
21						

Q-1 修理地に球が入った。どこへ出すべきか
〔質問1〕

プレーヤーの球はホールに向かって左側のラフ内の修理地に入っている。球から近い修理地の外側はフェア・ウェイだからフェア・ウェイにドロップできるか？

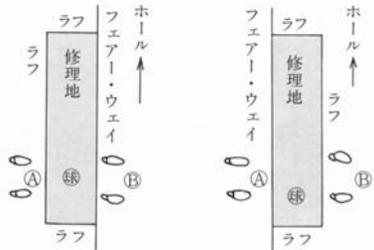
〔質問2〕

プレーヤーの球はホールに向かって右側のラフ内の修理地に入っている。修理地自体はラフだから、救済を受けるならば同じ条件のラフ側にドロップするのがフェア・プレーではないか？

A-1 1.修理地に入った球は修理地の外側で救済を受けられますが、球から近いか遠

いかの外側は修理地の境界できません。図の如く、ホールに近づかないで球をドロップできる所が右側と左側にあります。そこで、修理地から救済を受けられる最も近い所にスタンスをとってクラブ・ヘッドをソールしてみます。そうするとA点とB点が得られます。この二点のうち球から近い方が救済を受けられる基点となります。図ではA点がB点より球に近いので、プレーヤーはA点からホールに近づかないで1クラブ・レングス以内にドロップしなければなりません。即ち、ラフ側で救済を受けることになります。

2.修理地自体はラフですから、同じ条件のラフ側にドロップして救済を受けるのがフェア・プレーの精神です。しかし乍ら、前記答1のようにラフのB点よりフェア・ウェイのA点の方が球に近いので、御不満でも規則通りA点からホールに近づかないで1クラブ・レングス以内にドロップして下さい。もし、A点とB点が球から等距離なら



ば貴意に添ってラフ側にドロップしてフェア・プレーの精神を貫くことは大変結構です。

注。左打ちのプレーヤーの場合は上記の状況がすべて逆になります。

参照一規則25条1b (修理地等からの救済)。

Q-2 誤って同伴競技者の背中に球を当てる
誤ってプレーヤーの球を背中で止める

マンズリー杯 (ストローク・プレー) 当日、5番ホールでM君、S君他の4人組の第2打はグリーン手前50~60ヤード近くに点在していた。それぞれグリーンに向かってアプローチ・ショットを終えたが、最後にアプローチしたM君の球がグリーンに向かって弧を描いて飛んでゆく途中、グリーンの方を歩いてきたS君の背中に当たりグリーン手前に落ちて止まった。S君はM君のアプローチがすんでないことに気付かなかつたらしく、M君もS君の歩いていることに気付かなかつたらしかった。

双方の過失であるが、この場合M君の球を止めたS君にはどんな罰が課せられるか？M君の球はS君に当たらなければピンそばに止まったと思われる。再プレーができるか？

A-2 ストローク・プレーでは他の競技者はみな局外者ですから、打った球が誰に当た

っても、あるいは当てられても罰の対象とはなりません。当たった球はラブ・オブ・ザ・グリーンであって球の止まった所からプレーを続けなければなりません。規則は全ての状況を網羅して1本にまとめてますから、質問の件だけに絞ると不公平のように思われますが、もしM君の打った球がグリーンを大オーバーの球で、たまたま旗の近くを横切っていたS君に当たってピンそばに止まったとしてもM君に再プレーさせてやり度いとは誰も思わないでしょう。

局外者とは、ストローク・プレーでは自分とそのキャディとパートナー以外の人またはものを指します。ラブ・オブ・ザ・グリーンとは、動いている球が偶然局外者によって止められたり、方向を変えられた場合に罰の対象とはなりません。

参照一規則19条1 (局外者に当たった球)、同条4 (同伴競技者に当たった球)。

Q-3 グリーン上で地面から首を出してきたミズは抜きとってよい

7番ホールのグリーン上でK君が打順のくる前にバットラインを調べていたとき、ホールと球の中間あたりのライン上でミズが地面から首を出しはじめた。K君の打順がきたときミズは地面から2センチぐらい出ている。このミズを引き抜いてバットをしてもよいか？ ミズを抜いたときはその穴を埋めてもよいか？ また、ミズを触りたくないときはミズが邪魔にならない所で球を横に移動できるか？

A-3 ミズ (虫類) はルース・インペディメントですから罰なしに取り除くことができます。K君はそのミズを抜き取ってからバットすればよいのですが、ミズを抜いた穴は気になっても埋めることはできません。グリーン上で修理できる穴は、球の落下によるボール・マークと古いホールの埋跡に限られます。ミズ (虫類) の穴は爬虫類の穴と違いますから救済の対象になりません。またミズ (ルース・インペディメント) は取り除くもので、触るのかいやでも球の方を移動することはできません。

参照一定義17 (ルース・インペディメント)、規則13条2 (グリーン上のルース・インペディメント)。

Q-4 グリーンに接している修理地に入った球の処置

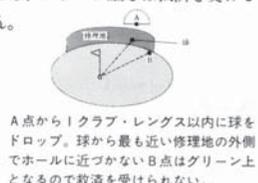
16番ホールにてM君の3打目はグリーンを少しオーバーして後方の修理地に入ってしまった。そのまま打つにはライが悪すぎる。修理地の外側で救済を受けたいが、球は修理地の後方へドロップしなければならないか？ 球から最も近い修理地の外側はグリーン上になるので、ホールに近づかなければグリーン上にプレースすることになるか？ どちらが正しいか？

A-4 修理地に入った球の救済を受ける場合は、ホールに近づかないで球から最も近い修理地の外側ぎりぎりの所でスタンスをとって球の位置を決め、その球の位置から1クラブ・レングス以

内にドロップすることになります。スルー・ザ・グリーンの修理地から救済を受ける場所は、グリーン上とバンカー内は除外されてますので、球から最も近くホールに近づかないで救済を受けられる所がグリーン上となっても、グリーン上では救済を受けることはできません。

参照一規則25条

1b (スルー・ザ・グリーンの修理地からの救済)。



Q-5 傷ついた球はグリーンに乗るまで替えられない？

7番ホールでK君は2打目をチョロして球はフェア・ウェイ左側のサイド・バンカーの先の方へ入ってしまった。前の土手が高いので9番アイアンを使って打った。打ち損じたトップ球は土手を転がり上ってバンカーの先へ出た。アプローチしようとして球を見ると大きな切傷ができていた。近くにいるO君に、この球は切傷がついてしまったから取替えてもよいだろうと尋ねた。O君は、球がグリーンに乗ってからでないかと替えられないと答えた。K君はアプローチには影響がないので、そのままプレーしてグリーンに乗ってから取替えた。O君の言うように傷ついた球はグリーンに乗るまで替えられないか？

A-5 そのホールのプレー中に傷ついた球ならば、傷を発見した時点で別の球と交換できます。ただし、ストローク・プレーではマーカー、マッチ・プレーでは相手に告げてから拾い上げ、正常な飛行や正常な転り方に支障がなくてプレーに適しない球かどうかの同意が必要です。独りで決めてはいけません。

参照一規則5条 (プレーに適しない球)

Q-6 ティ・ショットのアンプレヤブルはティに戻って打ち直せる

9番ホールでT君のティ・ショットは左へ飛んでゆき、左斜面下の道路を転がって遙か先に止まって

昭和59年度夏季ジュニアゴルフ教室

●期日 昭和59年8月20日(月) ●場所 桜ヶ丘カントリークラブ ●参加者 男子31名 女子4名

●期日 昭和59年8月27日(月) ●場所 東京ゴルフ倶楽部 ●参加者 男子50名

初心者教室

●期日 昭和59年8月23日(休) ●場所 ノーザンカントリークラブ錦ヶ原コース ●参加者 男子22名、女子5名

今年の夏のジュニア教室は、従来から行っていたジュニア初心者教室の他に、新しく日帰りラウンドを主体にするジュニア教室を開催した。ゴルフのプレー費用が高騰している日本では、どうしてもジュニアがプレーできる機会は少なくなってしまう。将来のゴルフ界の中心プレーヤーに育っていくジュニアたちに、出来るだけ安くプレー出来る機会を与えたいというジュニア委員会の願いに、桜ヶ丘カントリークラブと東京ゴルフ倶楽部の2クラブが快く応じていただき、クラブの休場日をジュニアに開放してもらったことが出来たことから、この日帰りのジュニア教室が実現したわけである。



東京ゴルフ倶楽部

この教室の費用は練習場での練習代、セルフ・バッグでのプレー・フィー、及び昼食と飲料まで入れてジュニア1人の負担は5,000円、これに連盟のジュニア育成費から1人当たり4,000円を補助した。できるだけジュニアの費用負担を少なくして参加しやすい教室にし、ジュニア育成の実を上げようという狙いがあった。

それと今回の教室から大きく変わったことは、このジュニア教室の事業に日本プロゴルフ協会が一枚加わったことである。今まではジュニア教室の度に西田升平プロを中心とした学連出身プロにコーチを依



ノーザンカントリークラブ錦ヶ原コース

頼していたが、社団法人として認可された日本プロゴルフ協会としては、その事業の一つとして教育普及活動をする必要があるため、このジュニア教室をきっかけに連盟のジュニア委員会と日本プロゴルフ協会の首脳陣とが話し合い、ジュニアのレッスンを担当するプロは日本プロゴルフ協会より派遣する形をとることになり、ジュニア教室に関しては完全にプロ協会との協力体勢が出来上がった。

桜ヶ丘での教室では、桜ヶ丘の所属プロの貝田日出男プロをはじめ、青木孝司、大塚一美の3プロ、



桜ヶ丘カントリークラブ



ノーザンカントリークラブ錦ヶ原コース

東京ゴルフ倶楽部には橋本秀次郎、堀川克己、鎌田富雄、ノーザン錦ヶ原の初心者教室には佐藤市雄、中村実、小林武人とそれぞれ各教室に3人ずつプロが派遣され、練習場でのレッスンでミッチリと基本からスイングをチェックして貰った。

スケジュールは午前8時から10時近くまでスタート前の練習時間をタツプリと取った。この間に十分体をはぐすと同時に、プロが一人一人の手を取り足を取ってのたんねんなレッスンが行なわれた。

その後、ジュニア委員会の齋藤文志郎委員長をはじめ、アマチュア界のトップ・プレーヤーを集めたKGAジュニア委員十数名が1組に1名ずつ付添って1ラウンドのラウンド・レッスンを実施、プレー上のマナーや、基本的なルール等、実践に即しての教育を行った。



桜ヶ丘カントリークラブ

やはり一番大変だったのはノーザン錦ヶ原の初心者教室である。集ったジュニアは小学生から高校生までの男女だが、初心者だけあってスイングのイロハから教えないといけない者が多く、午前8時から正午までの練習では、教えるプロも汗ダク。

午後からハーフ・ラウンドのプレーを行ったが、ラウンドするのは生れて初めてというジュニアが大半なのだから、付添ったジュニア委員は音を上げた。何回打直しても目の前の川を越えないジュニアもいれば、真剣になればなるほど空振りが多くなる者、飛ばしはしても右や左と打ち分けてボール探しに毎ホール追われる有様。特にこの日は暑さが一段と厳しく、焼き付けるような炎天下にハーフ4時間近くもかかっただけ、鍛え抜かれているトップ・アマチュアのジュニア委員たちもたまったものではなかった。



東京ゴルフ倶楽部

「自分で2ラウンドした時より疲れるよ」と一緒に汗にまみれ、半分アゴを出しながら上って来た。ジュニア教育のためとはいえ、この暑い最中にボランティアでご協力いただいたジュニア委員の方々のご苦勞には、まさに頭の下る思いがした。

それだけでもたついた初心者のジュニアたちは、ハーフ・ラウンドだけのプレーながら、もっと時間があればまだまだラウンドをしていたらよかったもの足りない顔つきをしている者が多く、ゴルフへの門戸を開くためのジュニア教室としては十分な成果があがっていたようだ。

理事会・委員会

加盟倶楽部殿 昭和59年9月19日
関東ゴルフ連盟
理事長 細川 護 貞

59年度第4回理事会議事録

59年度第4回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日時 昭和59年9月19日(木)正午

場所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、相山、藤原、福田彰、福田富市、古賀、木村、古茶、小宮山、松野、大槻、齊藤、佐藤各常務理事、青木、金丸、勝又、北村、小林金太郎、小林甲子郎、佐久目、竹井、滝沢、山崎各理事、岩本、三嶋両監事

—— 決 議 事 項 ——

1. 関東オープン報告の件

武内競技委員長より、8月30日から9月2日までの4日間、茨城県の実業国際カントリークラブで開催された関東オープンゴルフ選手権競技は、初日に小雨に見舞われたものの、その後は好天に恵まれたこともあり、最終日などは6,000人に達するギャラリーも入り、大成功を収めたこと、また収支の面では未だ確定した数字ではないがと前置きして、前売券の販売はコース側の事情もあってややおさえたため、この販売収入は少なくなっているが、これに替えて広告収入等で実績をあげ、総収入は1億2千5百万円、支出が約1億円、おおよそ2千万円の利益が見込まれ、これからコース借入料を支払っても十分黒字が出る見通しが立った旨の説明があり、全員異議なくこれを了承した。

2. 昭和60年度競技日程の件

コース選定委員会の武内副委員長より、同委員会で選定した明年度KGAの主催競技日程表を後記の通り発表、一部未定のコースを除いて全員異議なく、これを承認可決した。

3. ハンディキャップ委員会報告の件

福田委員長より、ハンディキャップ委員会は新しい観点からアンケート調査をしてみたが、その結果、クラブ・ハンディキャップ委員会の権限がクラブによってまちまちであることがわかり、この違いに対してJGA、KGAから出来るだけ同一のものとするための見解等を出すことも考えてみたが、

これも悪くするとハンディキャップ規定そのものをくずす恐れもあるため、委員会の権限の見本となるものを作成するにしても、現在実施しているクラブは別として、新しく切替えるクラブへの見本としたい旨説明があった。なお委員会活動としては各県代表委員が県ごとに2〜3クラブを選定、委員会からも人を派遣してハンディキャップの普及活動を新たに実施することになっているとの説明も行なわれ、全員異議なくこれを了承した。

4. ジュニア教室報告の件

ジュニア委員会の齋藤委員長より、本年度の夏のジュニア教室は新しい試みとしてコースの休場日をお借りして日帰りのゴルフ教室を開催することとし、8月20日は桜ヶ丘カントリークラブ、8月27日は東京ゴルフ倶楽部と前後2回の教室を開き、この両クラブの方々には休場日にかかわらず、大変お世話になったが、参加者は桜ヶ丘が男女合わせて33名、東京が50名と予想に反してやや少なかったのは新しい試みで大会実施要項等の作成が遅れてジュニアに知らせる期間が短かったこと、及び、高校対抗等の他の行事が重なったためであり、次回からは各教室とも最低80名のジュニアは確保したいとの説明があった。なお、今回の教室で大きく変わったことは、今まで実技指導のプロには日大出身の西田升平プロを中心に学連出身のプロを個々に依頼していたが、この件に関して日本プロゴルフ協会の首脳陣との話し合いから、プロはプロ協会の負担で派遣されることになり、各教室ごとに3名ずつのプロが来てジュニア教室に協力してくれた。

また、例年実施しているジュニアの初心者ゴルフ教室も8月23日にノーザンカントリークラブ錦ヶ原コースで午前中はレッスン、午後は9ホールのレストランというスケジュールで実施したとの報告の後、ジュニア委員が桜ヶ丘に10名、東京に7名、初心者教室に7名が出席、暑い最中に指導に当たってくれたが、できればラウンド・レッスンの際、ジュニアの1組に1人の指導員をつけた方が、ルールやマナーの教育という面で一層の徹底がはかれるため、委員を数名でも増員できればお願いしたいと思っている旨の説明があった。

5. 新規加盟申請クラブの件

加盟申請のあったサンモリッツカントリークラブについて入会審査委員会より審査の経過報告が行なわれ、続いて滝沢理事より推薦の説明があり、全員異議なく加盟を承認した。これで連盟の加盟クラブ総数は341クラブとなった。

6. その他

① KGA50周年記念行事の件

細川理事長より明年度は関東ゴルフ連盟の発足以来50周年に当るので祝賀行事等をどうしたらよいかとの提案があり、結局新たに特別委員会を結成してそこでくわしく討議することとし、委員の人選は理事長に一任することを決めた。

② 2月役員改選の件

細川理事長より、明年2月がKGAの役員改選期に当るので、各地区ごとに役員改選に取りかかる必要があるが、この対応についてはかかったところ、一応常務理事会で検討した上で理事会にかけることを決めた。

③ ユニバーシアード募金の件

古賀常務理事より、各クラブに対してユニバーシアードへの協力の10円募金の要請が来ているが、これをどうしたらよいかとの質問があったが、これに関しては日本ゴルフ協会よりまとめて1千万円を献金しているので、各クラブでは10円募金をする必要はない旨の説明があった。

次回理事会 昭和59年11月28日(木)

於：ホテルニューオータニ

以上

昭和60年度関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競 技 名	開催コース		
60.5	14	火	関東女子選手権予選	第1ブロック 第2ブロック	東京国際 鎌ヶ谷	
13	月					
5	20	月	関東アマチュア選手権予選	第1ブロック	武蔵野	
	20	月		第2ブロック	越生	
	21	火		第3ブロック	大厚木	
	21	火		第4ブロック	一の宮	
	20	月		第5ブロック	江戸崎	
5	29	水	関東女子選手権決勝		高麗川	
60.6	3	月	関東倶楽部対抗予選	東京地区	青梅	
	3	月		埼玉地区	川越	
	3	月		第1地区	南総	
	5	27		火	千葉	長太郎
	6	4		火	茨城地区	大栗野
	3	月		神奈川地区	水戸グリーン	
	4	火		茨城地区	東宇都宮	
	3	月		第1地区	鹿沼国際	
	3	月		第2地区	群馬	
	3	月		群馬地区	群馬	
	3	月		静岡地区	東名	
5	水	長野地区	長野			
59.9	28	金	新潟地区	長岡		
60.6	11	火	関東アマチュア選手権決勝		横 浜	
12	水					
13	木					
7	1	月	関東倶楽部対抗決勝		鶴 舞	
7	23	火	関東ジュニア選手権予選		ノーザン錦ヶ原	
	24	水				
	25	木				
7	31	水	関東ジュニア選手権決勝		武 蔵	
8	1	木				
9	5	木	関東オープン選手権		飯 能	
	6	金				
	7	土				
	8	日				
9	10	火	関東シニア選手権予選	第1ブロック	相模野 習志野(空港)	
	11	水		第2ブロック		
9	25	水	関東シニア選手権決勝		千 代 田	
10	23	水	関東グラウンド・シニア選手権		我 孫 子	

コース・レート

●昭和59年6月7日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
太田双葉カントリークラブ (5月9日査定)				
愛宕・天王	70.0	68.5	70.1	68.7
天王・御所ノ入	69.5	68.5	70.0	68.8
御所ノ入・愛宕	70.0	68.8	70.8	69.4
ノーザンカントリークラブ錦ヶ原・なの花コース (5月14日査定)	68.0 67.9(サブ)	67.0 66.9(サブ)		
源氏山ゴルフクラブ (5月17日査定)	70.2	68.5	71.3	69.4
相模湖カントリークラブ (5月29日査定)				
藤・桜	70.1	68.4	70.9	69.1
桜・百合	70.5	68.6	71.6	69.5
百合・藤	70.1	68.2	71.4	69.2

●昭和59年7月3日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
報知チサンカントリークラブ・黒羽 (6月15日査定)				
アウト・イン	69.6	68.4	70.1	68.8
イン・レディス	67.6	65.9	68.4	66.6
レディス・アウト	68.0	66.5	68.6	67.2
御茶の水カントリー倶楽部 (6月19日査定)				
西・中	70.9	69.5	69.6	68.4
中・東	71.7	70.0	70.1	68.8
東・西	71.3	69.7	69.9	68.6
那須ゴルフ倶楽部 (書類審査)			71.8	69.2
都賀カントリー倶楽部 (書類審査)				
西・北	70.1	68.0	71.5	69.4
北・東	69.0	67.5	70.6	68.7

●昭和59年7月30日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
美里ゴルフ倶楽部 (7月10日査定)			72.0	68.7
佐久平カントリークラブ (7月18日査定)			70.8	69.2
大浅間ゴルフクラブ (7月19日査定)				
シラカバ			71.9	70.1
バイン			70.4	68.9

●昭和59年9月5日決定

クラブ名	Korai		Bent	
	Back	Reg	Back	Reg
新潟ゴルフ倶楽部 (書類審査)	70.3	69.0		

月例競技成績表

〔6月例〕 参加：94名 6月18日(月) 於：飯能ゴルフクラブ

(男子)

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
1	小川 透	岡部チサン	37	33	70	38	35	73	143
2	鈴木 軍治	袖ヶ浦	40	37	77	32	34	66	143
3	加藤 雄二	日大	35	38	73	35	38	73	146
4	大出 正義	新千葉	37	37	74	35	39	74	148
4	奥延 通康	茨城	38	34	72	37	39	76	148
4	中野 弘治	美善	37	34	71	35	42	77	148
7	小出 一尤	姉ヶ崎	36	37	73	37	39	76	149
7	松田 守功	習志野	38	36	74	36	39	75	149
7	森田 直樹	東筑波	37	35	73	37	39	76	149
10	前場 敏信	杉ノ郷	39	35	74	38	38	76	150
10	宮本 清	小川	39	35	74	38	38	76	150
12	大久保 清	桜ヶ丘	37	39	76	36	40	76	152
12	柿原 恒	府中	36	38	74	37	41	78	152

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
12	和田 博	東京五日市	38	39	77	37	38	75	152
15	五十嵐 唯郎	東京五日市	38	37	75	40	38	78	153
15	大竹 徹	高根	40	39	79	37	37	74	153
15	岡田 光正	嵐山	41	36	77	38	38	76	153
15	鹿座 一郎	セントラル	36	36	72	42	39	81	153
19	高安 信行	セントラル	41	40	81	37	36	73	154
19	星野 正治	武蔵野	39	42	81	38	35	73	154
19	森永 正隆	武蔵野	40	39	79	36	39	75	154
19	山田 勲	東千葉	38	40	78	37	39	76	154
19	山田 保太郎	桜	41	38	79	38	37	75	154
24	新井 安寿	武蔵野	35	40	75	38	42	80	155
24	高橋 俊三	舞橋	36	42	78	41	36	77	155
24	顔 賢義朗	船橋	37	41	78	37	40	77	155

コース・レート 72.5

(注)小川透、鈴木軍治氏はタイスコアの為7月10日、プレーオフを行います。

参加：14名 6月8日(金) 於：甘楽カントリークラブ

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
1	三木 恵美子	富士	41	41	39	121
2	鈴木 エツ	大栗野	42	39	41	122
2	渡辺 恵子	高根	43	40	39	122
	(以上入賞)					
4	福井 美保	GMG八王子	43	39	41	123
5	喜多 麻子	茅ヶ崎	43	39	42	124

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
5	高橋 良江	東京国際	42	41	41	124
7	斎藤 美樹	甘楽	46	41	41	128
8	新田 佐喜子	藤岡	45	46	40	131
9	大久保 清子	川越	42	45	46	133
9	山根 みどり	日高	44	45	44	133

コース・レート 68.9

〔7月例〕 参加：78名 7月16日(月) 於：日高カントリークラブ

(男子)

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	37	37	74	38	33	71	145
2	小川 透	岡部チサン	37	40	77	34	37	71	148
2	加藤 光	甘楽	36	37	73	40	35	75	148
4	岡田 光正	嵐山	38	38	76	35	38	73	149
4	加藤 雄二	日大	36	37	73	39	37	76	149
4	鈴木 軍治	袖ヶ浦	36	37	73	38	38	76	149
4	中野 弘治	美善	37	38	75	36	38	74	149
4	前場 敏信	杉ノ郷	40	36	76	36	37	73	149
4	森田 直樹	東筑波	36	35	71	38	40	78	149
4	森永 正隆	武蔵野	34	41	75	35	39	74	149
	(以上入賞)								
11	大竹 徹	高根	35	38	73	40	37	77	150
11	原 敏雄	東名厚木	37	38	75	35	40	75	150
13	上野 進	高根	40	34	74	40	37	77	151
13	工藤 久人	日大	37	40	77	37	37	74	151

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
13	嶋田 善人	梅	40	39	79	38	34	72	151
13	下井 昌史	日大	37	39	76	37	38	75	151
13	竹岡 和彦	船橋	36	38	74	37	40	77	151
13	森 茂則	セントラル	38	42	80	37	34	71	151
13	山口 規朗	武蔵野	37	38	75	39	37	76	151
20	大山 四郎	鎌ヶ谷	36	39	75	40	37	77	152
20	佐久間 義雄	姉ヶ崎	41	34	75	40	37	77	152
22	高橋 英明	甘楽	38	39	77	36	39	75	152
22	田代 昌義	新千葉	40	36	76	37	39	76	152
24	大出 正義	新千葉	41	37	78	36	39	75	153
25	太田 再勇	大相模	36	42	78	38	38	76	154
25	奥延 通康	茨城	38	39	77	36	41	77	154
25	富永 進	成城大	37	41	78	38	38	76	154
25	山田 勲	東千葉	37	38	75	38	41	79	154
25	吉田 八郎	府中	38	40	78	37	39	76	154

(注)6月例プレーオフの小川透、鈴木軍治氏は小川透氏が優勝しました。 コース・レート 71.7

参加：54名 7月20日(金) 於：霞ヶ関カントリー倶楽部

(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
1	高橋 良江	東京国際	38	35	39	112
2	中田 朱美	袖ヶ浦	39	41	38	118
	(以上入賞)					
3	田中 成美	成城大	40	41	41	122
3	福井 美保	GMG八王子	41	40	41	122
5	内田 トシ子	新宇都宮	41	43	39	123
5	佐川 治子	東京国際	41	39	43	123

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	アウト	合計
5	三木 恵美子	富士	42	40	41	123
8	田村 千代子	鎌ヶ谷	43	42	39	124
9	村田 トシ子	鎌ヶ谷	42	42	41	125
10	甘糟 澄子	東千葉	45	42	39	126
10	太田 由紀枝	千葉廣済堂	41	42	43	126
10	大久保 清子	川越	38	45	43	126

コース・レート 東70.1

月例競技成績表

〔8月月例〕 参加：76名 8月17日(金) 於：千葉カントリークラブ(梅郷コース)

(男子)

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
1	小川 透	同部チサン	35	33	68	36	39	75	143
2	坂田哲男	袖ヶ浦	35	36	71	39	35	74	145
2	原 雄雄	東名厚木	38	35	73	35	37	72	145
4	大竹 徹	高 根	37	37	74	36	38	74	148
4	初見為治	大 利 根	38	35	73	37	38	75	148
(以上入賞)									
6	小出一 允	結ヶ崎	36	35	71	37	41	78	149
6	森 茂 則	セントラル	37	35	72	39	38	77	149
8	加藤家光	甘 葉	38	39	77	38	35	73	150
9	中野弘治	美 善	38	37	75	39	37	76	151
10	加藤一彦	千 葉	37	37	74	38	40	78	152
10	金沢俊彦	東京国際	39	37	76	39	37	76	152
10	新村ヨシオ	千 葉	36	38	74	41	37	78	152
10	高安 信行	セントラル	37	36	73	39	40	79	152

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計		
			アウト	イン	アウト	イン			
10	前場敏信	杉ノ郷	37	37	74	38	40	78	152
15	上代修二	中山	35	43	78	35	40	75	153
15	龍川茂美	戸 塚	39	39	78	36	39	75	153
17	志村幹夫	大 洗	37	37	74	40	40	80	154
17	田代昌義	新 千 葉	39	38	77	38	39	77	154
19	上野 進	高 根	40	39	79	37	39	76	155
19	太田再勇	大 相 模	36	38	74	42	39	81	155
19	鹿塚 一郎	セントラル	41	38	79	38	38	76	155
19	田中伸一	伊 勢 原	38	39	77	39	39	78	155
23	五十嵐唯郎	東京五都市	37	39	76	40	40	80	156
23	桜本 隆	南 総	40	40	80	39	37	76	156
23	宮 辰夫	習 志 野	40	42	82	39	35	74	156
23	山田保太郎	桜	36	42	78	40	38	78	156

コース・レート 72.6

(女子) 参加：26名 8月17日(金) 於：東京国際カントリー倶楽部

順位	氏名	クラブ	アウト		イン		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
1	渡辺 恵子	高 根	39	36	38	113	
2	中田 朱美	袖ヶ浦	39	39	37	115	
(以上入賞)							
3	佐川 治子	東京国際	40	40	39	119	
4	福井 美保	GMG八王子	36	45	39	120	
4	三 木 恵美子	富 士	39	38	43	120	

順位	氏名	クラブ	アウト		イン		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
6	黒 沼 カホル	鳥 山 城	38	41	42	121	
7	石 田 雅 子	富士平原	40	39	43	122	
8	正 木 英 子	立川国際	41	38	44	123	
9	大久保 清子	川 越	38	41	45	124	
9	田 村 千代子	鎌ヶ谷	43	39	42	124	

コース・レート 68.6

お知らせ

理事長変更のお知らせ

千代田カントリークラブ (新) 八尋 俊 邦
(旧) 池田 芳 蔵

広陵カントリークラブ (新) 大木恒四郎
(旧) 平 木 証 三

クラブ代表者追加変更のお知らせ

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 代 表 者
赤羽ゴルフ倶楽部	(新)石川 雄一 (新)滝沢 光 (旧)石川 治 (旧)井口 俊次
美里ゴルフ倶楽部	安西 正道 市川 金次郎
大厚木カントリー倶楽部	木下 俊雄 (新)吉國 二郎 (旧)遠藤 洋吉
伊豆スカイライン カントリー倶楽部	島田 登美 (新)大沢 泰 (旧)清水 寿夫
水戸ゴルフクラブ	山本 光春 (新)戸張 捷 (旧)松浦 均
宇都宮国際 カントリークラブ	石川 昌雄 (新)石川 智 (旧)柳沢 一
御殿場ゴルフ倶楽部	安 得 三 (新)安 欣治 (旧)大島忠太郎
広陵カントリークラブ	(新)大木恒四郎 代田 申三 (旧)平 木 証 三
上毛高原 カントリー倶楽部	(新)古賀 剛大 三好 徳行 (旧)吉崎 満雄

昭和59年9月30日発行KGAニュースNo.8

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 TEL.(03)215-0511

発行人 細川 護 貞 編 集 広報委員会